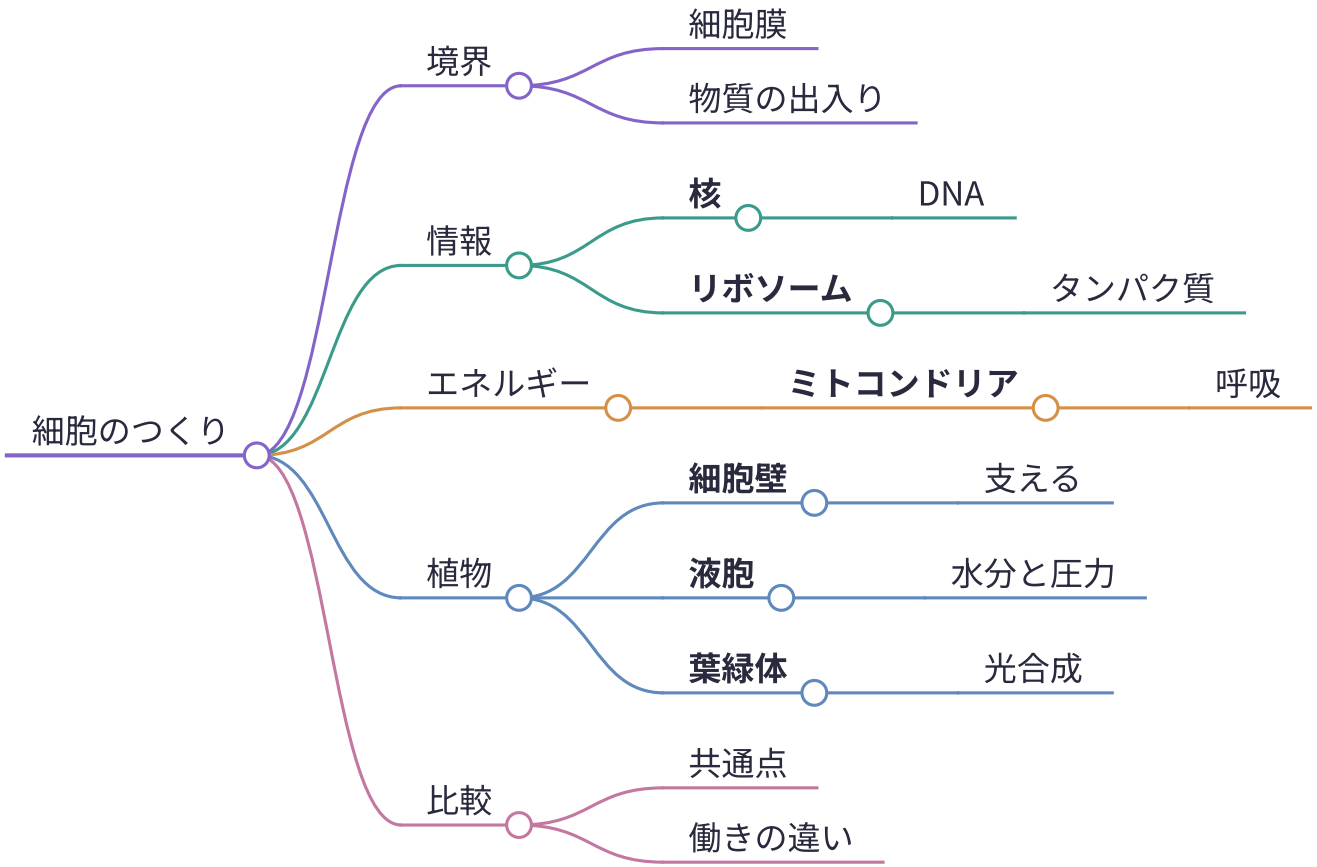
細胞のつくり

構造と働きを対応させます。



枝を一つずつ読み、細部を隠して自分の言葉で説明してみましょう。

内容を理解する

細胞は生物の働きの基本単位です。細胞膜は物質の出入りを調節します。真核細胞では核にDNAの大部分があり、リボソームはタンパク質をつくります。ミトコンドリアはエネルギー変換に関わります。植物細胞には細胞壁や液胞があり、光合成をする細胞には葉緑体があります。

マップの構成

共通する構造を確認してから植物と動物の細胞を比べます。

> **ここに注意**
> すべての細胞に核があるわけではなく、植物のすべての細胞が光合成するわけでもありません。

自分で考えてみよう

葉の細胞に葉緑体とミトコンドリアの両方がある理由を説明しましょう。

考えてみよう：二つの問い

物質の出入りを調節するのは？

細胞膜は外界との境界となり、物質の移動を調節します。

植物の細胞にもミトコンドリアはありますか？

植物も呼吸によってエネルギーを利用します。

参考資料

openstax.org
https://openstax.org/books/biology-2e/pages/4-3-eukaryotic-cells

Studera.aiが作成した学習用の作例です。studera.ai/ja/gakushu-shiryo/mindmap-rei でマップを活用できます。